

2023年度 保育園プ・アンの自己評価について

保護者の皆様へ

保育園プ・アン 園長 永田 眸

保育園の自己評価とは

「保育所保育指針」（厚生労働省告示）では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と規定されています。

そのため、保育園プ・アンでは、職員を対象として自己評価を実施し、評価の結果を踏まえて、今後の保育内容の充実につなげていきたいと考えています。

評価の方法

【自己評価】の内容にある項目について、保育士等が次の基準により評価欄に記入する。

3・・・十分達成できている 2・・・ほぼできている 1・・・改善を要する

評価の結果への対応

* 1 「保育理念・保育観」の低評価に関しては、保育指針と保育理念・目標との関係の理解を深め指導計画に生かしてまいります。日常の保育では子ども一人ひとりの発達状況に合わせた保育が行なわれております。* 3 「危機管理」に関しての意識が低いので、避難訓練や研修等を通して緊急時に対応できる体制を更に強化してまいります。また、行事等の参加から保護者との信頼関係を築き、保護者支援という面にも重点を置いてまいります。また研修に多く参加させ、自己研鑽を充実させ、質の高い保育を目指してまいります。

【自己評価の内容】

1 保育の理念・保育観

No.	評価項目	2023年度 評価（平均）	2023年度 総合評価
1	保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し指導計画を作成している。	2.0	2.3
2	子どもが自分の思いや意見を、はっきり言うことができるよう配慮し、尊重している。	2.4	
3	職員一人一人が自己評価を行い、その問題解決のために向上心をもって取り組んでいる。	2.4	
4	保育園には、入園している子どもの保育だけでなく地域の子育て支援をする、社会的役割がある	2.2	

	ことを意識している。		
5	子ども一人ひとりの発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育している。	2.4	

2 保育計画・指導計画

No.	評価項目	2023年度 評価（平均）	2023年度 総合評価
1	保育指針のねらいや及び内容が、達成できるような全体的な計画や保育計画になっている。	2.2	2.3
2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週・日案を作成している。	2.4	
3	子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような環境構成を意識して保育している。	2.3	
4	食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち、連携して食育活動をしている。	2.4	
5	行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	2.2	

3 保育園の職員構成・役割分担・研修

No.	評価項目	2023年度 評価（平均）	2023年度 総合評価
1	職員の職務や役割分担ははっきりとしていて、それぞれの仕事を責任を持って行っている。	2.4	2.4
2	豊かな集団の育成をめざしたクラス運営が進められ各クラスの連携が円滑に行われている。	2.4	
3	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている。	2.2	
4	園内外の研修には、目的を持って参加している。	2.6	

4 運営・管理

No.	評価項目	2023年度 評価（平均）	2023年度 総合評価
1	子どもの個人記録などの個人情報保護の管理を適切に行なっている。	3.0	2.7
2	保育業務の中で知り得た事柄に対しての守秘義務を全職員に周知し守られている。	3.0	
3	帳簿類は、適切に記載し、整理保管している。また情報（文書）ファイルは必要とする者同士で共有・活用するため適切に保管している。	2.6、	

4	玩具・遊具等は必要に応じて消毒したり衛生面に十分に配慮するとともに、破損の有無を確認している。	2.6	
5	子育てのパートナーとして「保護者の子育て支援する」という役割を意識し、保護者との意思疎通を図っている。	2.6	